

煌け! 登美北

平成27年7月17日(金)
奈良市立登美ヶ丘北中学校
生徒指導だより
文責: 三間瀬 充宏

日々新た

個人懇談を利用して、「1年生の校外学習」、「2年生のびわ湖体験」、「3年生の修学旅行」の活動の様子を写した写真が展示されています。私も「どんな姿が見られるかな」という好奇心から写真を見せてもらいました。1年生は、入学して1ヶ月程しか経っていない時期だったので、まだ小学生の面影が残るようなあどけない笑顔でした。2・3年生は学年が進むにつれて、顔つきや体型が変わり、大人に近づいているのを実感しました。

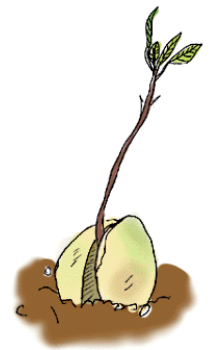
人間の細胞は成人で60兆個あり、新陳代謝(しんちんたいしゃ)で、古い細胞が新しい細胞に次々と入れ替わり、短いもので胃腸の細胞は約5日、長いもので骨の細胞が約3ヶ月の周期で入れ替わると言われています。だから、細胞の新陳代謝が正常であれば身体は3ヶ月で新しく生まれ変わるようになります。新しい自分ができているのですね。中学生の時期は特にそれが活発な時期で、入学してから卒業するまでの間に何度も細胞が入れ替わります。だから、入学してから卒業するまでに大きく心も体も変化することが納得できます。

そんな君達の成長を感じたとき、表題の言葉が頭に浮かんできました。この言葉は聖人といわれた殷^{いん}の湯王^{とうおう}(紀元前1776年より53年迄在位)が日々用いる洗面手洗いの盤に刻みつけておいたと伝えられている語句です。湯王は治国平天下の道を行うのに寸陰を惜しんで朝夕これを眺め、自ら修養の鑑戒^{かんがい}にしたと言われています。司馬温公^{し ば おんこう}はこれに次のような解説を付けています。「君子の学は、必ず日に新たなり。日に新たなる者は、日に進むなり。日に新たならざる者は、必ず日に退く。未だ進まずして退かざる者はあらざるなり」と。

人生に苦難や失敗はつきもの。挫折、絶望の原因となるものが次々に襲ってくる。しかしピンチに見舞われて、打ちひしがれていては自滅する。今日、苦悩や悲しみに傷ついてもへこたれず。耐えて明日を迎える。そこに新しい一日が始まる。そして、その一日を全力で頑張ることで、そこから新たなる希望、活力がわいてくる。

一般には、次のように言われています。

日に新たに、日々に新たなり
日々是新(日々是れ新たなり)
日に日に新たなり



中学生は、悩み迷いながらも日々新たに成長して可能性を広げる。そんな時期です。失敗を恐れず、何事にもチャレンジする。そんな姿勢を自分の中に育てましょう。

たった一つの成功のポイント(「成功」の反対は)

夏休みをどのように過ごそうと考えていますか。計画はすでに立っていますか。部活動ですか。家族で旅行ですか。それとも・・・いろいろありますね。

さて、「成功する」は英語で「SUCCEED」です。「SUCCEED」には、「成功する」以外に「続ける」という意味があります。そうなのです!「続けること」こそ、成功の秘訣なのです。例年、夏休み前に「これをしよう」と思っていたけれど、できなかったことはないでしょうか?ぜひ、今年は続けてみましょう。誘惑に負けそうになることもあるでしょうが、自分と向き合う夏に。ちなみに「成功」の反対は「何もしない」。挑戦こそ成功のかぎです。

(月刊生徒指導8月号参照)